

I : 2025年3月期 決算概要

II : 企業価値向上に向けた取り組み

III : 2026年3月期 業績予想

付属 : サステナビリティ推進に関する方針、取り組み

2026年3月期 業績予想

OKB 大垣共立銀行

円金利上昇は2026年3月期第3四半期での政策金利0.25%引上げを予想

貸出金の積み増しを図るほか、有価証券運用で一部リスクテイクを再開することなどにより、連結当期純利益は150億円を予想

【単 体】 (単位：億円)	25/3期	26/3期	前期比
コア業務粗利益	563	625	+62
資金利益	463	538	+75
役務取引等利益	103	86	▲17
その他業務利益（除く国債等債券損益）	▲4	▲0	+4
経費	401	423	+22
うち人件費	211	218	+7
うち物件費	167	180	+13
コア業務純益	162	201	+39
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	168	211	+43
有価証券売買損益	3	16	+13
国債等債券損益（債券5勘定戻）	▲49	▲10	+39
株式等関係損益（株式等3勘定戻）	53	26	▲27
与信関係費用	3	22	+19
うち一般貸倒引当金繰入額	▲6	▲3	+3
うち個別貸倒引当金繰入額	9	25	+16
その他臨時損益	16	7	▲9
経常利益	179	204	+25
税引前当期純利益	171	190	+19
当期純利益	132	140	+8

【連 結】 (単位：億円)	25/3期	26/3期	前期比
経常利益	207	229	+22
親会社株主に帰属する当期純利益	147	150	+3

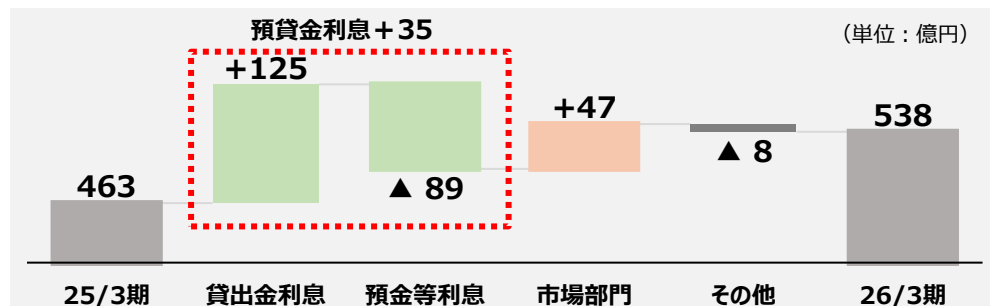
金利シナリオ

(単位：%)

	25/1-3	4-6	7-9	10-12	26/1-3
日銀政策金利	0.50	0.50	0.50	0.75	0.75
米FFレート	4.50	4.25	4.25	4.00	4.00

資金利益の増減

(単位：億円)



コア業務粗利益

市場動向の影響を受けやすい預り資産販売を保守的に見積もったことなどから、役務取引等利益は減少する一方で、円金利上昇の影響などにより資金利益が増加し、コア業務粗利益は増加する見通し

経費

経費はシステム投資の増加などにより物件費が増加することを主因に増加するものの、トップラインを引き上げることでコアO H Rは70%を下回る水準で着地する見通し。

与信関係費用

足元の環境を勘案し、保守的に見積もり過去平均並みの水準